



Club Weekly Bulletin

■創立：昭和54年1月23日 ■例会：毎週火曜日 17:30
 ■事務所：奈良市大宮町6丁目2-1 南都銀行大宮支店内 電話 0742-33-8583
 ■例会場：奈良市高畑町1096番地 奈良ホテル本館 電話 0742-26-3300(代)
 ■会長：井上正行 ■副会長：北神徳明 幹事：増井義久



卓話 ガバナー補佐 熊本 國勝 様

会長報告

1. 成田会員より休会届が提出されましたので、持ち回り理事会で承認致しました。
2. 11月5日に開催致します「青少年の薬物乱用防止と依存症からの回復」について新地区補助金を申請しておりました件ですが、9月7日に\$3,500（日本円で28万円から振込手数料を控除した279,160円）の入金がありました
3. 五條RCの犬飼会長より先般の台風12号の災害に対し多数お見舞いを頂いたとのことで礼状が届いております。
4. 先週土曜日に県下会長幹事会が大和郡山RCのホストで行われました。各クラブ会長幹事はじめ奈良第1・2クループのガバナー補佐が参加されました。協議事項は以下のとおりです。
 - ①当クラブから提案しておりました会報の送付につきメール送付に賛同5クラブ、郵送に賛同5クラブ、どちらでも対応可能3クラブでした。
 - ②ポリオ撲滅に対する寄付の募り方は各クラブ様々ですが、あるクラブは月1回軽食デーを設けそれにより浮いたお金を寄付に回す、またあるクラブは半期に1千円ずつ集める、募金箱を回して集める、などでした。当クラブは財団月間に財団委員長より発表があると思いますので宜しくお願い致します。
 - ③台風12号の被害について、特に奈良県のことでありますので、各クラブより一人当たり3千円を集め、五條RCを通じて支援することになりました。集め方は理事会にて審議致しますので、その節はよろしくお願い致します。
 - ④東日本大震災の復興に対する特別委員会の件ですが、目標として3年間1人当たり年間1万円ずつ集めさせて頂きたい、とのことでした。
 - ⑤クラブの長期計画につきましては、Eクラブを除く地区内96クラブ中56クラブが提出済で、残りの20クラブが今後提出される予定だということです。
 - ⑥2011-2012年度の新地区補助金プロジェクトに対し、43クラブが申請され、補助金がおらなかったクラブも7クラブございます。どのようなクラブに申請がおらなかったか、という一覧表もございますので、ご参考までに次年度会長に資料をお渡ししたいと思います。



2011~12年度 当クラブテーマ
 『クラブの未来のために
 リーダーを育成しよう』



良き伝統を守り、新しいロータリーに挑戦しよう

国際ロータリー第2650地区
 ガバナー 今西 信裕



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

四つのテスト

- 真実かどうか
- みんなに公平か
- 好意と友情を深めるか
- みんなのためになるかどうか

例会プログラム

第12回 9月27日
 通算1570回

1. 開会の点鐘 17時30分
2. ソング
 「大宮ロータリークラブのうた」
3. お客様の紹介
4. 会務報告
5. 卓話
 英国 Staffordshire 救急局 S.C.A.T. 今中 聡 様
 「災害時ロータリーメンバーとして何が出来るか」
6. 閉会の点鐘 18時30分

例会状況報告

第11回 9月20日
 通算1569回

● 会員数	69名
● 出席免除者数	23名
● 出席者数	53名
● 出席率	88.33%

第9回 9月6日
 通算1567回の修正

● 会員数	70名
● 出席免除者数	23名
● 出席者数	59名
(内補填者数)	4+1名
● 出席率	95.16%

委員会報告

新世代委員会・武中委員長

10月8日の防災訓練ですが、本日出欠の回覧を回しておりますので、皆さんご出席をお願い致します。奈良県内では十津川で、本当に甚大な被害が出ておりますが、誰も同じ県内でこのようなことが起こると思っていなかったのではないかと思います。一人でも多くの方に防災訓練を体験して頂き、自己を自ら守れるような、そのような訓練になれば、と思っております。

社会奉仕委員会・多田実委員長

明日10時から奈良市西部公民館（学園前ホール）3階に於いて、秋の交通安全運動市民決起大会が行われます。台風の影響でどうなるか判りませんが、現在のところ中止の連絡はございませんので、是非とも多数の会員の方のご参加をお願い致します。また、ご参加されればメーキャップ扱いとなります。

国際奉仕委員会・西口委員長

- 毎年皆さんにご入会をお勧めしておりますロータリーカードですが、ポイント制度が有利になり、メリットが増えたようです。お持ちの方はロータリーカードを積極的にご利用いただきますようお願いいたします。
- タイ・バンコクで行われます国際大会のご案内です。2012年5月6日～9日まで開催されます。ロータリアン、ご家族の皆様にご参加頂きたいとのことです。タイはそんなに遠い所でもございませんし、馴染みがあったり好きな方もいらっしゃると思います。是非積極的にご参加下さいませようをお願い致します。また説明会もありますので、締切等につきましては後日ご案内申し上げます。

会報・IT委員会・平方委員長

本日配布しております9月20日（1569）号に誤りがございました。2ページ目の下と3ページ目の上に会場「長浜ロイヤルホテル」とありますが、正しくは「北ビワコホテル グラツィエ」でございます。HPは早急に訂正してアップさせていただきます。

友好クラブ委員会・潮田委員長

現在、ミリラニサンライズRCの前々年度の会長がガバナー補佐をされており、皆様がプライベートでハワイに行かれる際には、出来るだけミリラニサンライズRCの例会にご出席頂きたいと連絡が参りました。家族の方でも結構ですので、ご連絡頂ければお世話をさせていただきますとのことです。宜しくお願い致します。

幹事報告

概況報告の行事予定に「労働に学ぶ」を掲載しておりましたが、本年度は開催されませんので、宜しくお願い致します。

「クラブの長期計画（戦略プラン）の必要性と考え方」

ガバナー補佐（地区研修委員） 熊本 國勝 様

私は今期でガバナー補佐3年目ということで、来年6月で務めを終える予定です。後任者は既に決まっておりますので、次年度からまた新しいガバナー補佐が担当されると思います。私もガバナー補佐を3年させて頂いて、その3年間に何を感じたか。いつも各クラブにお邪魔して、各クラブの実態を見て、「たぶんこのクラブは成長できるな」「たぶんこのクラブはなかなか先に行けないだろうな」というような判断をします。では何故そのような判断をするのか。現実問題として我々の周りでは会員が減ってきている訳ですが、逆に毎年会員数を増やしているクラブもあります。その観点で見れば、そのクラブが活力に満ちているか、もしくは活力があまり感じられないクラブか、ということが感じられるわけで、そういう意味では奈良大宮RCは、先日今西ガバナーからも「非常に安定的なクラブだ。70名を維持している、ということについては大変素晴らしいクラブである」と言われました。一方で奈良大宮RCが現状から脱皮するためにはどのようにすれば良いか、という一つのご提案があったかと思いますが、もし3年後に例えば100名という会員数を目標にした場合、このクラブはどのように変わるだろうか。ということをおっしゃっており、私も全く同感でした。今日私がお話ししたいのは、現今西年度が取り組んでいる「長期計画」ですが、何故そういうものが必要なのか。またそれを実行するためにはどのような視点でものを見たらいいのか、というお話をしたいと思います。

本日皆さんに、2ページのレジュメ、そして添付資料として長期計画策定ツールからの第1表が配布されているかと思ひます。

先日も申し上げましたが、いまロータリーは非常に変わろうとしております。何故かということ、RIもそうですが、

地区の組織も変わろうとしています。それはどのようなことから来ているのか。まずR Iが「長期計画」を立てるようになったのは1992年に遡ります。R Iでは1992年に「長期計画」を試験的に導入しました。それを受けて2002-2003年に岡村パストガバナーの年度にD L P（地区リーダーシッププラン）が導入され、ガバナー補佐制度ができました。当初奈良県下ではガバナー補佐は1名（地区全体では3名）体制がとられておりましたが、現在は2名（地区全体では13名）になっております。また任期も今は3年ですが、その前は2年、来年から1年・2年・3年の何れか、ということで、それは全てガバナーエレクトの意向により、更新されたりされなかったりという大変厳しい状況に入っております。どうしてそういうことが行われるのかというのは、R I理論の関係ではありません。D L Pが導入され、ガバナー補佐制度が導入され、それをクラブに落として行かなければならない、ということで、平井ガバナー年度にC L P（クラブリーダーシッププラン）が導入された訳です。当時私はクラブ会長をしておりましたが、有無を言わず取り敢えずC L Pを導入しろ、ということで、京都南R CがC L Pを前提としたクラブ細則規定に改訂され、我々はそれを見本にさせて頂きました。従って、何が何やらさっぱりわからないままC L Pを導入し、もう6年になります。ところが現実問題このC L Pについては実際クラブにおいては、既に活用しているクラブ、従来のままの方が良いというクラブ、導入はしているが従前と変わらないクラブの3つに分かれており、ガバナー補佐の立場からすれば、C L Pという目的をきちんと把握しながらその委員会が活動しているクラブについては非常に前向きなクラブとなっております。2006-2007年にC L Pが導入されて6年が経ち、このクラブでも当然導入されておられる訳です。それと共にR Iが2007-2010年の第1次長期計画、それから2010-2013年の第2次長期計画、ということで、現在その第2年度に入っております。その第1年度が栗田年度でした。その時に導入されたのが昨年多田廣さんの受けられたR L Iというクラブ研修リーダーに対する制度で、クラブ会長より任命されたクラブ研修リーダーに対し、勉強ではなくクラブ活性化の手法を学んで頂こう、クラブ活性の為の色々な包括的なプログラムを学んで頂こう、というものです。包括的な、ということがどういうことかと申しますと、一つはクラブ協議会であり、クラブフォーラムであり、また各委員会の状況についてクラブ研修リーダーが指導していく、もしくはみんなでそれをどのようにしていけば良いのか検討する、その為には手法が必要だということで、前年度からR L Iを導入致しました。今年度は2年目に入り、一昨日、2回目の研修会が行われこちらから谷川さんと楠原さんが参加されました。また現会長の井上さんも既に受けられております。それは何かというとクラブの活性化が前提になっております。従来であれば情報委員長が教育を担当されておりましたが、勿論情報委員長がクラブ研修をやっても結構ですが、現実問題としては情報委員長は新入会員の育成が主な仕事で、情報の提供が主な役割だろうと思います。そのような訳でC L Pが導入され地区も変わり、クラブに対するサポートの仕方が全く変わってきているということに先ず皆さんに気が付いて頂きたいと思います。何故そのようにしないといけないのか、ということで出てきたのがクラブ長期計画です。この長期計画の必要性が今西年度からC L P導入⇒クラブ研修制度・クラブ研修リーダー制度がR L Iによって上手くクラブに導入されるであろうということで、次にやらなければならないものとしてクラブの長期計画をみんなで立てようじゃないか、ということが一つの変化です。ではその長期計画の基になっているものは何か、と申しますと、添付資料の第1表にある「地区長期ビジョンと長期計画の策定について」というものです。これは今年度橋本パストガバナーが中心になり地区研修リーダーをされておりますが、今西ガバナーから「今年は全クラブに長期計画策定を導入して頂きたい。その為の手法の浸透を各クラブへお願いしたい」ということで、ではそれを誰が担当するのか、ということになり、地区の研修委員会がそれを担うということになりました。私も現在その研修委員会に委員として籍を置いております。その中で我々が作ったものがこの「長期ビジョンと策定ツール」という大まかな図式です。その中には標語というか目標のようなことが書いてあります。基本的には何かと申しますと、ビジョン・標語・中核となる価値観で、これがようやく最近皆さんも口にするようになりました。「親睦・奉仕・多様性・高潔性・リーダーシップ」の5つがベースになるであろう、そのことを醸成しなければならない。いまロータリーに一番必要なものは何か。この「親睦・奉仕・多様性・高潔性・リーダーシップ」、このことをみんなが共有し、みんなが自己改革をしながら、ロータリーの奉仕の理想、奉仕の心を学び取っていかなければいけないのではないかと。そしてそれを地区レベルではどのようにしているか、ということですが、その第1表でもありますが、2007-2010年の長期計画を立てる前に、橋本パストガバナーの時に「地区長期ビジョン委員会」が結成されました。現在の委員長は今西ガバナーで、委員が栗田・河本ガバナー（パスト・エレクト）で、全てガバナー（パスト・エレクト）によりその委員会は構成されております。R Iからの2010-2013年の長期計画の目標を掲げて、それを地区レベルに落としたものが左側にあります4つのテーマである「クラブのサポートと強化」の目標、「人道的奉仕の重点化と増加」の目標、「公共イメージと認知度の向上」の目標、「地区管理運営の効率化」の目標を掲げております。特に今西年度においては地区としての大きな目標は4つありますが、その中でも特に重要だと思われるものは数値化しております。その数値化は2011-2012年度地区の主たる地区の数値目標、一つ例を挙げるならば地区大会参加者3,000名、地区会員4,700名を達成しようという、財団・米山も包括的に入っておりますがいくつかの数字があり、勿論会員増についてもそうです。地区はこのように各クラブにお願いするしかない訳ですが、クラブは逆にそれに対して挑戦して頂くことが必要になります。そうしますと、クラブ会長、役員、理事などに同じような形でクラブ内の目標を設定して頂きたいというのが今西年度の考え方です。ではどのような視点で行えば良いのか。クラブレベルでの長期計画の要点ですが、先ほどの4つの目標を掲げ、それをもう一度クラブに持ち込み、そのことについてどうあるべきか検討して頂きたい、またその際には3か年計画を前提に策定して頂きたいという、この計画の大きな必要性と、また何をやらなければいけないのかということへの考え方がそこに明

記されている訳です。

私は立場上色々なクラブに卓話に伺いますが、その際によく質問を受けます。その中で、「いままで長期計画について一つも言わなかったのに何故急に言い出すのか」「ロータリーの最大の特徴はワニヤー制度ではないのか。一年会長制、一年組織制、というのが良いのではないのか」という意見があります。確かに私もロータリーに入会して27年間皆出席しておりますが、その中で会長が毎年替わっていく、ということは或る意味で我々は非常にリフレッシュします。会長が替わり、委員長も替わり、雰囲気も変わります。場合によっては会長によってやり方も変わって来ます。ただ、リフレッシュも結構ですが、3年間私は各クラブの概況報告を拝見しておりますが、殆どがコピーです。いわゆる前例主義です。去年の委員会の活動をそのままコピーしたものが殆どです。その中で奉仕事業は変わっているかも知れませんが、しかし各委員会の活動計画については、殆ど前例主義で行われているのが現状ではないかと思えます。我々は同じ田んぼに毎年同じ種を蒔き、同じ苗を作って刈り取っているに過ぎないのではないかと。しかし我々はそうではなく、次から次へと新しい田んぼを増やす必要があります。また、土壌も変わっていくわけです。また思考も変わっていきます。そうしたときに同じ畑で同じものをずっと作り続けて良いのだろうか。そのように考えたとき、これからはやはりスパイラルしなければならない。ワニヤーでは同じところを堂々巡っているに過ぎない。本来、我々のクラブの目標は上を向いて行かなければならない。目標が同じでやり方も同じであれば堂々巡りになります。目標ややり方を毎年変えて頂ければ、当然これは上の方に行くわけです。そういう意味でいまロータリーが活性化していくには、絶えずスパイラル方向へ転換しなければならない、というのが今西ガバナーの考え方です。では何故そのような考え方が必要なのか。いまここにいらっしゃる殆どの方は経営者の方ではないかと思えます。そこで質問をさせて頂きたいと思えます。私は経営コンサルタントの端くれで、私の会社は小さな会社ですが、私のクライアントの売上は数千億円を超えております。でもその中で潰れたり逆に潰したり、まためっちゃくちゃ発展した企業、色々ある訳ですが、私もよくそういう経営相談を受けるときに、よく「貴方の会社が存続して、なおかつ発展し、成長するためには何か必要ですか。一つだけ挙げて下さい」という質問することがあります。「今年の売上、目標利益を獲得するにはどうしたら良いですか」ということも訊きます。すぐ答えられるのは、「目標利益を達成すること」です。これはすぐに解ります。売り上げを増やすか、仕入れコストを下げるか、経費を下げるか、この3つしかございません。しかし会社の成長と存続、これを保証するのは何だろうか。ということを見ると答えはなかなか出てきません。色々あると思えますが、私は一つだと思えます。「正しい経営戦略をとっているかどうか」ということです。正しいとは、どういうことか。先ず時代に対応しなければならない。その時代時代にどのように変化に対応していくのか。ということを見ると「正しい」ということは変化に対応するための手法だと私は考える訳です。そうするとその表の中に「なぜ長期計画が必要か」が書いてありますが、その中で”3年後の世の中はどうなっているのか””3年後のわがクラブをどのような体質にしておかねばならないか”⇒”その為にはどのような手（施策）を打たなければならないのか”⇒”強くなる為にはどのような変化にも耐えられるクラブ体質を持たなければなりません”とありますが、これは企業においても全く同じであろうと私は考えます。3年後世の中が変わっている。その時うちのクラブはどうなっているのか、またどうあるべきか、ということをつもつも今年3年後、また3年後、3年後とずっと各クラブ会長・役員の方が案じながらクラブ運営をされたときに「いま何をしなければならないか」という原点に戻ってくると思えます。そのことがワニヤー制度と長期計画を立てた時の会長・次年度会長・次々年度会長の気持ちがそこに一体化しないといけないということに結びつきます。そう考えると我々にいま必要なことは、長期計画ということになり、要するに3年後どのようなクラブにしたいか、どういうクラブであるべきなのか、ということをおもひで考えれば良いのではないのでしょうか。

企業経営というのは結果が出てきます。数値が出てきます。その数値に対して結果責任を取らざるを得ないのが経営者です。その為に皆さんは自社の中長期計画や経営計画をお立てになっていることだろうと思えます。しかしクラブにはそれがありません。それはどうしてか。数値目標がないからです。そしてまた数値結果を問われることもないからです。1年やればそれで終わりです。その中で結果責任を取るといふようなことは先ず考える必要はありませんが、考えて見ればロータリーというのは、我々があるのは3つのみです。ロータリーの綱領、綱領を取り巻く手続要覧、会員の3つしかありません。この中で、ロータリーの綱領、奉仕の理想を動機付けながら、それを長期的に養っていくのか、また自分というものをつくっていく場を我々はロータリーに求めている訳ですが、ロータリーというのは人間の集まりである以上人間力を発揮しないとそのクラブは上手くいかないだろうと思えます。我々のその中核となる価値観、5つの価値観を中心に日常、毎例会にそれを求めざるを得ないということになるのではないかと思えます。そういう意味で私が「ロータリーとはこういうものではないか」と思えます項目についてここに述べております。

<レジュメ資料より抜粋>

ロータリー（ここでは、RC・会員）と目標と中核となる価値観の醸成についての雑感

- 1、企業は、利潤を追求する為、従業員・商品・サービス、経営者の努力が見える（数値結果）
*年間計画や、中・長期経営計画を必要とする。
- 2、ロータリー・クラブは、職業奉仕（有償奉仕）と、社会奉仕（無償奉仕）の活動体（倫理運動体）であり、見えにくい（数値評価が難しい）。
- 3、ロータリー・クラブは、経営者も、オーナーもいない、あるのは 会員、ロータリーの綱領（奉仕の理想）、手

続要覧だけである

- 4、ロータリーの綱領（奉仕の理想）を、昇華・推進させるのは全会員の責務である。
その根源となるのが、奉仕・親睦・多様性・高潔性・リーダーシップの5つの価値観の醸成で成り立つ。
- 5、ロータリー・クラブは、全会員が綱領活動して、初めて実態が見え、存在感が発揮できる。
- 6、ロータリー綱領活動が見えるようにするには、会長をトップとする会員のリーダーシップが必要となる。
- 7、ロータリーには、人間力（会員力）が必要であり、人間力発揮には”目標”が必要だ。
- 8、ロータリーは、会員の多様性や、高潔性が発揮されなければ ”人間力（会員力）”にならない
- 9、ロータリアンは”毎週一回、例会に出席し親睦の機会(学ぶ) がある
- 10、クラブの活性化は委員会活動がすべてであり、目標が必要だ
- 11、目標は、クラブ(委員会) へ感情移入する事から課題が見えてくる。
(現在を見直す→今これでいいのか、何をしているのか、本当に正しい方向に向かっているのか・・・)
→3年後は、10年後はどうあるべきか。
- 12、今やらなければならない事（課題）は何か、課題が見つければ改善策が出てくる
- 13、改善策を実行するには、みんなで課題を共有する必要がある。（危機感の共有）
- 14、改善策を実行するには、具体的施策目標が必要である。
- 15、目標達成には全員が参加し、協力して、達成感を共有し、感謝する、という価値観が必要である
- 16、お互いの協力には、感謝で返そう。（信頼関係をつくる）
- 17、目標が達成されたら、新たな高い目標[課題] に取り組む。
- 18、そういうクラブ組織風土は、永遠に「奉仕の理想」に挑戦できる。
- 19、目標（長期計画）は、最大の武器である。
- 20、スクラップ&ビルド も リストラクチャリング（再構築も）すべて目標から

ロータリーは有償奉仕と無償奉仕という矛盾するものをずっと相考えながらやっていかなければならない。それを奉仕の理想にどう繋げていくか。数値責任も数値評価もない。しかしながらロータリーが活発化・活性化するにはどうすれば良いか。いまここに70名いれば70名全員がそれぞれ自分の多様性や高潔性、5つのことをみんなそれぞれそこで発揮する必要があります。その為にクラブには委員会があります。委員会は「本当にこのクラブは正しい方向に進んでいるのか」ということを真剣に考える必要があると思います。私はいまガバナー補佐という立場ですが、今西ガバナーに感情移入しております。そしてガバナーがガバナー補佐に対して何を求めているのか、ということをもいつも考えながら行動しております。クラブでは会長に皆さんがいかに感情移入されるか、そしてそうして欲しいと思います。その一つが委員会で、委員長は委員に対し「自分に感情移入して欲しい」ということを言わねばならないと思います。そうすればうちの委員会にはこんな問題・課題があるよ、ということをも委員の皆さんも的確に指示できる筈であろうと思います。そうすれば当然ながらそこには問題が発生し、それを解決するための課題が出てきます。課題が出てくればそれを実行する手段を考えれば良いと思います。

そういうことを考えると我々はこのロータリーという一つの自己鍛錬の場においてある意味で我々と同じように、会員一人一人が長期的な目標をいつも考えながらやって頂けると私は素晴らしいロータリークラブになるかと思えます。最後になりましたが、「不易流行」という俳諧の言葉があります。“不易”とは“変わらないもの”、“流行”とは“変わるもの”。でも、不易と流行が一つになって初めて「不易流行」という言葉になる。ロータリーも100年200年と続くロータリーの綱領は変わらないと思いますが、それを取り巻くロータリーの環境はどんどん変化します。いつも少しずつでも変わって行く努力をすることが、我々ロータリーの為にも自分の為にもなるのではないかと思います。

例会変更

■☒榎原ロータリークラブ ■

・☒9月30日（火）・・・休会

※ビジター受付は行いません。

9月お誕生日・結婚記念日

★お誕生日★

3日 石野捨雄 君 4日 多田 実 君 5日 潮田悦男 君 7日 植村将史 君
19日 森山斗福 君 21日 橋本和典 君

★結婚記念日★

10日 飯田二昭 君 11日 藤井正勝 君 14日 坂井宣之 君 16日 西口栄一 君
28日 橋本和典 君



本日計 61,000円 累計 831,000円

- ガバナー補佐 熊本國勝 様** お世話になります よろしくお願ひ致します
井上正行 君 先週の家族例会では、会員、御家族の皆様の御協力のおかげで無事予定どおり終える事が出来ました。又親睦委員会の委員の皆様大変お世話を掛けました。本日の卓話講師熊本國勝ガバナー補佐いつも有難うございます。
- 増井義久 君** 熊本國勝ガバナー補佐、本日は宜敷お願ひします。
植村将史 君 熊本ガバナー補佐さま 本日は宜しくお願ひ申し上げます
楠原忠夫 君 ローターリーリーダーシップ研究会 (R.L.I.) に谷川さんと共に参加しました。午前9時～午後5時までディスカッション形式で、居眠りできない環境でのハードな勉強会でした。でも勉強になりました。最後まで参加して頂いた谷川さんお疲れ様でした。尚、これで委員会報告を略させて頂きます。
- 野崎隆男 君** 先日は、滋賀長浜家族例会に遠路はるばるご参加頂きまして、ありがとうございます。親睦活動委員会より代表してお礼申し上げます。
- 堀内真治 君** 家族例会、ありがとうございます。ニコニコ協力
西口栄一 君 ニコニコ協力 結婚記念品有難うございます
飯田二昭 君 ・結婚記念日のお祝有難うございました。・北河原様、お世話になり有難うございました。ニコニコ協力
- 橋本和典 君** 誕生・結婚のお祝ひ有難うございます。◆60才の思い出に・9/17～9/19東北釜石市で小池先生とボランティア活動。61、62になっても行きたいです。・20年6ヶ月連れ添った貞淑な糟糠の車”キャトル”と別れ新しい車に。サブリーナからカルメンへ、情熱的に生きたいです。宮西さん、お世話かけました。◆61才からの願ひに・明日(9/21)61回目の誕生日、来週の明日35回目の結婚記念日。いつまでも現役でイキたいです。
- 藤井正勝 君** 結婚記念のお品をいただき、有難うございます。今年は何かなと家内が楽しみにしています。親睦委員の方々のご努力に感謝申し上げます。
- 坂井宣之 君** 結婚記念日のお祝ひありがとうございます。
矢追家麻呂君 武中さん先日はありがとうございます。倉田さんご苦労様でした
潮田悦男 君 事情があって、アメリカ旅行をドタキャンしました。中條さん、武藤さん 申訳ございませんでした。
- 弓場裕史 君** 朝のテレビの占いではランキング1位!でしたが…今日は普通の1日でした。普通の1日に感謝!
- 森山斗福 君** にこにこ 季節の変わり時 体調に みなさま気をつけて下さい
多田 実 君 ニコニコ協力
有井邦夫 君 ニコニコ協力
石野捨雄 君 ニコニコ協力
谷川千代則君 ニコニコ協力

本日のお客様 張 敏 さん (米山奨学生)

次週の例会

10月4日(火)
卓話 松尾寺副住職 松岡 秀晋 様
「職業奉仕とロータリー」